

結成式は 1960 年（昭和 35 年）5 月 25 日

大戦の恩讐を乗り越えて、フィリピン・マニラ LC のスポンサーで東京に LC が 1952 年 3 月誕生。次に生まれたのが東京クラブのスポンサーで 1952 年 8 月横浜 LC 、1953 年 3 月神戸 LC 。継いで大阪 LC 、京都 LC 、松山 LC が神戸 LC のスポンサーで結成され、1954 年 8 月大阪 LC のスポンサーで名古屋 LC 。津に LC が結成されたのは 1960 年 5 月、名古屋 LC のお骨折りである。まさに日本が戦後の不安定期を経て、高度成長へと躍進すると同時に津 LC が誕生と言うことになる。

当時の名古屋 LC （現在は名古屋ホスト LC であるが当時のまま、しばらくは名古屋 LC と記させていただきます）の会報にはこう書かれている。

— 5 月 25 日、津市丸之内会館 5 階ホールに於いて名古屋クラブスポンサーで津ライオンズクラブ結成式が行われ、東地区で 88 番目、日本地区で 181 番目のクラブとして誕生した。発会式に当クラブより武重会長、後藤第 3 副会長、遠山幹事が列席して新クラブの前途を祝福し、あわせて、クラブ旗一流及びゴングを贈呈した。

津 LC は創立会員 26 名で、第 2 ・ 4 金曜（ 12:15 ～ 13:30 ）が例会日であります。 —

会長は金丸吉生（百五銀行常務取締役）、第一副会長・船谷重郎（三重いすゞ社長）、第二副会長・吉田雷介（三重交通常務取締役）、第三副会長・加藤悦蔵（せきえつふとん店代表店員）、幹事は細田浩邦（アルス代表取締役）、会計は富田信雄（富田会計事務所長）など役員が紹介されている。

つづいてチャーターナイトに出席していただいた、我がクラブにとっての恩人とも言える L 後藤顯義が名古屋 LC の会報に寄せた文章をご紹介しておこう。

一ふとした機会に百五銀行川喜田頭取にお目にかかった折りに、津市にいや三重県にも是非ライオンズクラブを作ってくださいとお願いしてから丁度四年の月日が流れた。一番先の筈であった津が桑名、四日市、伊勢市について昨年漸々呱々の声を上げた。今日は待ちに待ったチャーター伝達式である。幸い天候にも恵まれ遠々秋田クラブからも参加され 350 名を越えるブランザークラブの会員に祝福されて無事に式典が行われこんな嬉しい事はない。我々ホストクラブ会員が私鉄ストの為か丸栄ホテル出発が 30 分も遅れた為にそれ丈開会が遅れ時間厳守のライオンズクラブとしては、大勢の会員に大迷惑を掛けたことは諂に申し訳ない事でした。認証状の授与に続いて安田ディビティーガバナーの申し分のない挨

拶、金丸会長の喜びの謝辞、其他いとも厳肅に明朗な式典を終わり、一同揃って今日の記念行事の一つである時計台の除幕式場まで行進した。黄色い帽子、手に色とりどりの風船を持ったパレードは津の市民に親愛と祝福の喜びの行進として非常に歓迎を受けた。復興なった津の街に一つの愛の時計台は燐然と輝きライオニズムの PR の第 1 弾は見事に結実し永久に津の市民に親しまれる事でしょう。其後一同はバスにて伊勢両宮に参拝、特に内宮では垣内参拝の光栄に浴し、舞楽殿にて神宮ならではの秘曲を特に我々の為に拝観させて頂いた事は、参加者一同日々の思出の一つに残ることでしょう。両宮を後にバスは一路晚餐会場養正小学校へ。津ライオンズクラブの皆さんのお手立て出迎えられる内に会場に入る。数々のお土産品食卓一杯の料理等整然と並んで居り宴酣となるや津市が誇る無形文化財の唐人踊り外数々の余興の中に目出度く春の宴は終了した。 —



津 LC 838 回例会を訪問し、お話しして顶いた L 後藤顯義

こうして津 LC は誕生。津のメルビン・ジョーンズ、L 金丸吉生と L 後藤顯義の友情がこれを強力に支えていたことは言うまでもない。L 後藤顯義は逝去される最晩年まで機会あるごとに津にお越しになり、津クラブの成長を暖かく見守ってくれた人である。

亀山 LC をエクステンション

初代、二代を L 金丸吉生、三代 L 船谷重郎、四代 L 吉田雷介、量より質の方針を貫きながらも会員数 50 名を越える。で、“おとっちゃん”会長で痴癡持ちといわれながらも誰からも愛された L 西村又吉会長となり、亀山 LC をスポンサーし、地域のリーダー的クラブへと成長してゆく。。

以下、歴代会長、幹事と主なアクティビティーをご紹介します。

● 1960 年度（ L 金丸吉生会長、細田浩邦幹事）
C N 記念事業として時計台等。 487,712 円。

- 1961 年度 (L 金丸吉生会長、L 山田義春幹事)
特殊学校児童をバスで犬山へ招待／盲学校ヘテープレコーダー等。300,000 円。
- 1962 年度 (L 船谷重郎会長、L 繁田勲幹事)
道路標識贈呈／津警察署へ白バイ贈呈等。540,859 円。
- 1963 年度 (吉田雷介会長、尾茂田静一幹事)
津市の施設ヘクリスマスプレゼント／特別施設児童を鳥羽めぐりに招待等。449,529 円。
- 1964 年度 (L 西村又吉会長、L 石本俊夫幹事)
援護家庭児童に入学祝い贈呈／ハワイ高校野球チーム招待協賛／肢体不自由児に机、椅子等 370,468 円。

5周年記念誌での当時の思い出話を読むと、
L 吉田 僕は津の L C を自慢するわけではないのですが、外に誇り得る立派な L C だと思っております。量より質という方針で今日に至っているわけですが、外では会員増強に重きを置いてやっているところもあるようですが、県庁の所在地でもあり、又立派な方々が入っているという事もあり、会員を増やすだけでは意味がないという方針からですが、金丸さんのお陰でこのように初代、2代と会長の意志にそってきており、その点からも他のクラブに誇り得るものであると思っています。

L 金丸 (前略) ……チャーターナイトの場合ですが、他のチャーターナイトをのぞきますとちょっと行き過ぎた贅やかさであった。津があれだったらかなわんと思っておった所が非常にうまくやっていただきましたが、あとで今の国際カウンセラー安田梅吉さんがガバナーの代理でみえたが私に津こそ本当に模範的なチャーターナイトであったほめていただきました。

と、草創期を経て津 L C の骨格が出来つつある事が感じられる。



5周年記念誌での座談会

10周年を前夜祭つきで祝う

会員も順調に増え、10周年では 64 名に。日本の発

展とともに歩んできた津 L C。まさに「事業を成功に導き、善良な生活を楽しみ、常に微笑みをたたえ、人類を愛し知識人の尊敬を集め、幼児たちに親しまれる」ライオンと呼ばれる人を作り上げた。と 10周年記念誌にあるとおりの歩みである。

- 1965 年度 (L 樋口喜代司会長、L 原田温夫幹事)
津市体育館へ電光掲示板贈呈／高茶屋病院へ治療用バス贈呈／津偕楽公園へ水呑施設贈呈等。2,279,950 円。

- 1966 年度 (L 繁田勲会長、L 村木正幸幹事地区 P R 委員長 L 西村又吉、D.D.G・L 金丸吉生、地区 P R 委員等森栄一)

津市体育館へ噴水塔／交通安全カーブミラー 2 基贈呈／大太鼓 1 台を民芸保存会へ贈呈等。2,073,560 円。

- 1967 年度 (L 皆川昭会長、L 中山秀生幹事、Z C・L 船谷重郎))
援護家庭へ進学祝い／新潟・山形水害見舞い等。489,320 円。

- 1968 年度 (L 山田義春会長、L 山内忠治幹事)
津・久居の援護家庭へ進学祝い／インド救ライ協賛金／久居ボーアスカウト発足祝い等。709,520 円。

- 1969 年度 (L 武内璋純会長、L 白井賢一幹事)
津市へあずまや式休憩所贈呈／市民の夕べ開催資金／援護家庭へ学用品贈呈等。2,743,160 円。

10周年記念式典は、1970年4月17日（金）に記念ゴルフ大会を柳原 C C。前夜祭として「青少年の夕べ」を4月18日（土）、三重県文化会館で名古屋シンフォニー演奏会（無料招待）。4月19日（日）の式典当日は13時からパレード（塔世橋～津市体育館）、14：15から津市体育館で式典と祝宴。実行委員長 L 原田温夫。



新調の制服で 10 周年のパレード

ブラジル・ビラマリア L C、台北市 L C と姉妹提携

10 年を経てますます充実の津 L C は会員数も 70 名

を越え、1974年に三重県とゆかりのブラジル、ビラ・マリアLC、台北市国際LCと姉妹提携。1975年7月より302E-F地区のキャビネットを担うまでに成長。

● 1970年度（L真弓脩会長、L賀来信一幹事）

中学校総合体育大会へ優勝カップ／ボーアスカウトヘント及びキャンプ用品贈呈／聖マツテヤ子供の家へ火災見舞い／援護家庭へ入学祝い等。1,176,000円。

● 1971年度（L中山秀生会長、L野田浩幹事）

津市内中学校バレーボール大会主催／ライオンズ文庫を社会福祉協議会へ送る等。619,750円。

● 1972年度（L森栄一会長、L斎藤甲子生幹事、地区PR委員L原田温夫）

チャリティーバザー／津市護国神社へ水銀灯2基／寝たきり老人にタオルケット寝間着贈呈等。936,195円。

● 1973年度（L山松真一会長、L藤波健一幹事）

引田天功チャリティーショーの益金を対ガン協会へ寄付／津・久居中学校へ剣道着を贈る等。4,463,195円。

● 1974年度（L原田温夫会長、L葉山久治幹事、地区会計監査委員L樋口喜代司、ZC・L西村又吉、地区YE副委員長L斎藤甲子生）



随筆ページもある10周年、15周年記念誌

三重県に集中豪雨見舞金／忠盛塚の整備と小公園造成（15周年記念事業）等。3,109,772円。

15周年記念式典は5月18日（日）L原田温夫会長のもと、L真弓脩大会委員長、式典司会L葉山久治。津商工会議所で式典、三重会館で祝宴。名古屋LC、台北LCはじめ、県内各地のLC、来賓、197名の参加。記念ゴルフ大会は5月17日（月）、鈴鹿CCにて開催。賞品に三重県知事杯、津市長杯、ガバナーエレクト杯、会長杯などがあった。

地区キャビネットを担当

1975年7月、302E-F地区（岐阜、三重、福井、石川、富山県）のキャビネットを担当。ガバナーL金丸吉生、

地区幹事L原田温夫、地区会計L真弓脩、年次大会委員長L西村又吉の名前があり、20周年記念誌ではL金丸吉生が年次大会を振り返って、こう記している。

回一（前略）一中部北陸5県内、124クラブの会員7,844名を擁する大所帯の皆さんを迎えて行われる大会のため、何とかして意義あるものとしたいという念願で一杯でした。幸いにして津クラブの会員の全員の強力はもとより、ホストクラブの会員の献身的なご援助により、厳粛でしかも盛大な大会であったことは筆舌に表現しがたい喜びでした。

今でも目蓋に浮かぶ式典の盛大さと、晚餐会で行われた伊勢神宮の舞楽の荘厳さは、何時までも残る印象深いものでした。それと開宴時の色とりどりの華やかさも未だに会員間の語り草となっています。私はこの強い印象と感激を何時迄も忘れず、今後も一層ライオニズムの高揚に努めたいと念願しています。

● 1975年度（L中幸吉会長、L土井潔幹事）

市内老人ホーム慰問／長谷山学園父母の会チャリティーショーに協賛／県立図書館に新館図書134冊贈呈／身体障害者授産所へ給食セット等。2,236,110円。

● 1976年度（L田中久男会長、L清水雅雄幹事、名誉顧問会議議長L金丸吉生、複合地区YE委員等斎藤甲子生、複合地区国際大会委員L原田温夫）

チャリティーバザー益金を対ガン協会へ／チャリティー試写会益金を障害児童教育施設へ等。2,766,631円。

● 1977年度（L伊藤義明会長、L中村宏幹事、地区会計監査委員L繁田勲、D.D.G・L西村又吉、地区PR委員等L波健一、地区YE委員L賀来信一、地区レオ委員L宮木三郎）

チャリティーゴルフ益金を対ガン協会へ／コンガチャリティーコンサート益金を市内老人ホームへ／チャリティー試写会と教育講演会を開催等。4,372,900円。

● 1978年度（L斎藤甲子生会長、L森本重也幹事）

チャリティーゴルフ益金を対ガン協会へ／チャリティー映画会益金を津海洋少年団へ／手話講習会を10回開催／三重アイバンク協会へ協力金等。2,299,200円。

● 1979年度（L飯場高士・L横井佳夫会長、L杉田和彦幹事、ZC・L原田温夫）

津市役所新庁舎前庭に藤棚／加山雄三チャリティーショー益金で津市青少年野外センター国旗掲揚塔建設／20周年記念事業として津駅前にブロンズ像建立等／同照明設備等。10,691,924円。

1975年7月6日、津中央LC、1977年11月には久居LCが津LCのスポンサーで結成式。また、1980

年4月20日(日)、津LCは結成20周年を迎え、津市農協会館で記念式典、翌21日(月)、青山高原CCにて記念ゴルフ大会。大会委員長はL武内章純。



L斎藤甲子生の装丁による20周年、25周年記念誌

四半世紀を経て会員数100名を越える

結成当時のチャーターメンバーを含めた会員は31名、最高年齢は68才、最低年齢31才、平均年齢は47.8才であった。24年を経て1984年のそれは、それぞれ103名、77才、39才、55.95才である。

発足当時の地区は日本に2つで302-E(東日本)と302-W(西日本)。津LCはEに属し、大会となると北海道まで出かけなければならなかった。その後、4、5度の編成換えがあり、今の形334-B地区(岐阜、三重)になったのは1976年。

●1980年度(L横井佳夫会長、L山口利幸幹事)

聴力障害者用手書電話装置一式を津市へ贈呈/チャリティゴルフ益金を対ガン協会へ/チャリティーバザー益金を津市の老人福祉拡充資金へ等。2,895,592円。

●1981年度(L葉山久治会長、L鎌田文栄幹事)

津偕楽公園へ桜100本植樹/チャリティゴルフ益金を対ガン協会へ/チャリティーバザー益金を津海洋少年団へ/日赤点証奉仕団へカセットテープなど/重度心身障害学級「ひまわり学級」へ活動資金等。2,728,670円。

●1982年度(L野田浩会長、L三宅克也幹事)

第1回中学生の主張大会開催/津公園、三重県武道館へアーモンドの木60本、椎、櫻の木各60本植樹/チャリティゴルフ益金を対ガン協会へ等。3,561,453円。

●1983年度(L賀来信一會長、L下岡明生幹事)

第2回中学生の主張大会/チャリティゴルフ益金を対ガン協会へ/津海洋少年団へ助成金/津リトルリーグ協会へピッティングマシーン贈呈等。2,438,800円。

●1984年度(L藤波健一會長、L行方昭藏幹事)

第3回中学生の主張大会/25周年記念事業として津市

役所公園にブロンズ像建立/津偕楽公園に檜100本植樹/津観音境内へ楠など30本植樹/津市社会福祉事業団へワゴン車1台贈呈等。6,916,850円。

結成25周年記念式典は1984年11月11日に会長L藤波健一、大会委員長L葉山久治、参加者288名。式典、祝宴を津市農協会館、記念ゴルフは11月12日伊勢中川CCで開催された。名古屋、台北はもちろんのこと、金沢東、331-B地区本別LCからも参加があった。

25年を振り返って、記念誌にL原田温夫はこう書いている。

最大限の向上を目指して

ライオンズクラブ国際協会第65代(1981年7月~1982年6月)会長L村上薰は、名古屋LC25周年のメッセージの中で、「白硅尚磨くべし」ということばは碧巖録に見る教えですが、もともと白硅それ自体素晴らしい宝石であります。石自体に神秘の輝きを秘め、永久にさびつかない光沢を持っています。が、これでも尚磨くべきであると先人は説くのです。磨いてよりよい光沢を出すことのみが必ずしも狙いではありません。が、そうすることが道を修じ人の上に立つものの当然のつとめであるというのです。ライオニズムに終点はありません。たどりついたと思えばその場は更に飛躍、來い來いと招くのです。

私はあえてこの厳しい修道者の心構えを贈り、この日が次なる栄光の座への出発点となりますことを祈る次第です。今、世界は私共にかく求め、期待を寄せているのです。

歴史と伝統の大クラブへの発展期

四半世紀を過ぎ、1990年、津LCは30周年を迎えるとまさに右肩上がり社会情勢を反映するかのように会員数113名を誇る大クラブへの道をたどる。

●1985年度(L清水雅雄会長、L宮木三郎幹事)

チャリティーバザー益金を津海洋少年団、津高虎太鼓に寄贈/第4回中学生の主張大会開催等。6,015,446円。

●1986年度(L村木正幸会長、L小菅健司幹事)

チャリティゴルフ益金を交通遺児援助資金として津市社会福祉協議会へ寄贈/第5回中学生の主張大会開催/津リージョンプラザ正面にブロンズ像等。4,997,380円。

●1987年度(L三宅克也會長、L中川治夫幹事)

チャリティーディナーショー益金を津海洋少年団に寄贈/交通事故防止資金造成チャリティーバザー開催/津

市保健センターへ健康教育用 16 ミリフィルム贈呈等。
3,778,400 円。

- **1988 年度** (L 森本重也会長、L 伊藤和広幹事)
留学生援助資金造成チャリティーゴルフ開催／第7回中学生の主張大会開催／おじいさん、おばあさんありがとう大会開催等。5,014,084 円。
- **1989 年度** (L 杉田和彦会長、L 川北順彦幹事)
環境保全資金造成チャリティーゴルフ開催／第8回中学生の主張大会／第2回おじいさん、おばあさんありがとう大会開催／外国人留学生のためのライオンズ文庫に教育教材贈呈等。10,020,728 円。



30周年記念アクティビティーは津センターパレスへ油絵と市内に5台の気象計

結成 30 周年記念式典及び祝宴は 1990 年 4 月 15 日、津都ホテル開催。大会委員長は L 賀来信一。

その会長挨拶で L 杉田和彦はこう述べている。
— (略) 一日本も私達の町も信じられないくらい豊になりました。以来、物の豊かさを補完する心の豊かさを求めて、諸先輩のご協力の下、私達 L C も心を尽くして様々な社会奉仕に努めてまいりました。— (略) —しかし今、私達の住む世界は、津 L C にもう一つの大きな愛を求めているように思われます。それは L 中村幸昭ガバナーご提唱の、世界の人々のすべてが地球の住民であるということであります。なかんずく、地球の住民は人間だけでなくすべての生物だと言うことに目を向けねばなりません。私は本年の津 L C の出発に当たりましてそのテーマを環境といたしました— (略) —

と、このあたりから環境に取り組むライオンズ活動が始まったようです。

記念アクティビティーはセンターパレスホールに宮武貴久恵氏の油絵、西独製気象計 5 台。計 500 万円。

よりフランクなクラブづくりへ

最高に達したかのような日本の景気も一段落し、ぐぐっと急ブレーキ。そして 1995 年 1 月、あの阪神淡路

大震災。神さまから「おい、おい、ちょっと立ち止まれ！」と一喝されたのかも知れません。

- **1990 年度** (L 宮木三郎会長、L 別所正佳幹事)
チャリティーゴルフ益金で津市内 11 中学校へ図書充実資金贈呈／第3回おじいさん、おばあさんありがとう大会／津観音寺境内ライオンズの森整備／台北市 L C 30 周年合同アクティビティーに資金等。3,904,534 円。
- **1991 年度** (L 下岡明生会長、L 加藤甫幹事、4 R・R C・L 葉山久治、Z C・L 藤波健一、)
第10回中学生の主張大会／チャリティーゴルフ益金を交通遺児援護、津海洋少年団へ寄贈／チャリティーバザー益金を三重ボランティア寄金へ等。5,767,666 円。
- **1992 年度** (L 中村宏会長、L 松田隆雄幹事)
骨髓バンク支援／三重刑務所「桜ヶ丘楽団」へ楽器贈呈／第1回こどもコーラスフェスティバル開催／聾学校へ空調設備贈呈等。4,200,676 円。
- **1993 年度** (L 山口利幸会長、L 宮田太郎幹事、地区エクステンション委員長 L 三宅克也、地区会計監査委員 L 藤波健一)
津西 L C エクステンション／上沼恵美子チャリティー講演会開催／チャリティーゴルフ益金でアジサイロード開設／第2回こどもコーラスフェスティバル／北海道南西沖地震義援金拠出等。8,711,793 円。
- **1994 年度** (L 行方昭蔵会長、L 飯田章幹事)
チャリティーゴルフ益金を津海洋少年団、津市に環境整備資金として贈呈／西川ヘレンチャリティー講演会開催／第3回こどもコーラスフェスティバル開催／阪神大震災へ約 237 万円の義援金拠出等。10,697,411 円。



阪神大震災のため 35 周年記念例会として開催

35 周年への準備を着々と進めていたところに、あの阪神大震災。記念大会をとりやめ記念例会として祝宴も取りやめ食事会へ。しかし、台北市 L C からは来日を自粛しクラブ例会で呼びかけたと 8,000 ドルの義援金。まさに友情に感激する場面があった。

記念アクティビティーも津観音へ境内整備のみとし、すべてを阪神大震災へ。台北からの支援と合わせ 310 万円を義援金とした。

新しい時代のライオンズクラブへ

40周年へ向けて若く、新しい時代のライオンズクラブづくりへ変化が見られたのがこの頃であると思われる。会長はじめ三役もグッと若くなり、より楽しく、より生き生きとクラブの雰囲気が変わっていくのが実感される時代であった。

● **1995年度**（L小菅健司会長、L伊藤雅朗幹事）津海洋少年団資金贈呈チャリティーバザー開催／第4回こどもコーラスフェスティバル開催／上富良野LCと姉妹提携／津軽三味線と民謡の夕べ等。6,177,251円。

● **1996年度**（L中川治夫会長、L河村正美幹事）第5回こどもコーラスフェスティバル開催／津軽三味線と童謡の夕べ開催／チャリティーゴルフ益金を障害者自立ネットワーク、津市社会福祉協議会、津海洋少年団へ寄贈／長野オリンピック協力金拠出等。3,315,620円。

● **1997年度**（L伊藤和広会長、L阿部博之幹事）第6回こどもコーラスフェスティバル開催／青少年健全育成及び環境保全資金チャリティーゴルフ／津軽三味線と童謡の夕べ及びアイヘルス活動PR等。4,850,096円。

● **1998年度**（L宮田太郎会長、L赤塚高之幹事、ZC・L三宅克也）

津軽三味線と童謡の夕べ開催／第7回こどもコーラスフェスティバル開催／青少年育成チャリティーバザー開催／クリーン津で安濃川清掃等。3,736,589円。

● **1999年度**（L加藤甫会長、L河戸克泰幹事）第8回こどもコーラスフェスティバル開催／台湾大震災へ義援金拠出／映画と講演の夕べ開催等。9,796,431円。



L加藤甫会長のもと結成40周年を盛大に祝う

戦後50年の1995年。津LCも36年目。この年、初代会長L金丸吉生逝去。メンバーの気質の変化も見られ、先輩、後輩の役割が薄れつつあるのを感じるようになった。40周年記念誌の座談会でも「L葉山さんやL村木先輩によくひっぱられたもんなあ～」「先輩が先輩の役割を果たしていない面もあるなあ」とある。

1996年4月12日、上富良野LCと姉妹提携調印式を津で、7月上富良野を行った。

結成40周年記念大会は2000年4月15日（日）、津センターパレスホールで開催。大会委員長L杉田和彦。

記念アクティビティーとして、アスト津ビル多目的ホールに緞帳一式、津観音寺へ白梅・紅梅植樹、アナベルマミナーズに金一封、むほR管楽アンサンブル合唱団に金一封。

会員減少 曲がり角？のライオンズ

結成以来、グングンと勢いを増してきた津LCも景気の後退とともに会員も減少気味。津ばかりではなく、地区、日本のLC全体もその傾向にある。が、そんな中にキラリと光るのが我が津LCである。

● **2000年度**（L森伸生会長、L別所晋一幹事）

チャリティーバザー実施／津LC杯争奪卓球選手権大会開催／第9回こどもコーラスフェスティバル開催／津市国際交流協会へ資金贈呈等。2,690,305円。

● **2001年度**（L伊藤雅朗会長、L岸江広和幹事）

小学生のための邦楽体験会及びチャリティー箏曲演奏会開催大阪国際大会協力金拠出／米国貿易センター・テロ災難犠牲者救援募金拠出等。3,528,748円。

● **2002年度**（L河村正美会長、L小寺克之幹事）

藤堂高虎一代記上演／津海洋少年団へ活動資金贈呈／津LC杯争奪卓球選手権大会開催／ダメ・ゼッタイ募金に協力／大阪国際大会へ例会振替で参加等。2,017,081円。

● **2003年度**（L赤塚高之会長、L野田洋一幹事）

親子歴史教室を4回開催／愛・地球博協力金／西が丘小学校へ植樹／津海洋少年団へ育成資金等。1,920,117円。

● **2004年度**（L村山武久会長、L中村豊久幹事）

愛・地球博協力金／まつり・祭・津まつり親子鑑賞会開催／スペシャルオリンピックストーチラン支援／こどもの日全国少年野球教室開催／45周年記念アクティビティーとして津なぎさまちへ津城下町再現模型を贈呈及びスペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野へ知的発達障害者とその家族ボランティア68名で応援・見学バスツアー／新潟中越地震義援金等。6,208,706円。

2005年4月10日（日）、結成45年を記念例会として津センターパレスホールで開催。台北市、上富良野からも大挙参加いただき、例会といえども知事、市長、ガバナーもご出席いただき記念大会の雰囲気であった。アトラクションは白子ウインドシンフォニカとよさこい「だったらあげちゃえよ」。実行委員長L宮木三郎。